

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第76回廃止措置分科会（R3SC） 議事録

1. 日時 2022年4月20日（木） 13:00-15:00

2. 場所：Web会議（Webex）

3. 出席者：岡本主査，松原福主査，田中幹事，青井，石原，工藤，黒川，小山，田村，
仲田，西村，深田，見上，目黒，山本
（欠席：中村，佐藤，堀川）（敬称略）

4. 配布資料

R3SC-76-1-1 原子力施設の廃止措置の基本安全基準 20XX 標準委員会書面審査コメント対応表

R3SC-76-1-2 原子力施設の廃止措置の基本安全基準 20XX 標準委員会書面審査コメント対応版（完
本）

R3SC-76-1-2 原子力施設の廃止措置の基本安全基準 20XX 標準委員会書面審査コメント対応版（完
本）

R3SC-76-1-2 原子力施設の廃止措置の基本安全基準 20XX 標準委員会書面審査コメント対応版（完
本）

5. 議事

（1）出席者／資料確認

17/22名の出席により分科会成立

（2）廃止措置基本安全基準(案)の審議 [R3SC-76-1-1～2]

第75回分科会で再審議となった下記事項について改定案の審議をおこなった。

・越塚委員の意見“可能な限り短い年限で終了”，“リスクを安全で合理的なレベルまで低減につ
いて”

前回の指摘：修正案はコメントを受けて言い過ぎになっているので、再修正を行って再審議
とする。

議論の結果，目的の記載を次の通りとすることにし，専門部会に報告することが承認され
た。

“廃止措置の目的は，この標準に規定される基本的な安全に関する要求事項の下で，廃止措置の対象
となる原子力施設（以下，廃止措置対象施設という。）に残存している放射性物質による周辺公衆への放
射線被ばくのリスクを安全で合理的なレベルまで低減した状態を達成することである。また，この目的
を達成するにあたっては，合理的で可能な限り短い年限で終了することが望ましい。”

（3）廃止措置計画策定基準(案)の審議 [R3SC-76-2-1～2]

第75回分科会でエディトリアルな指摘事項について修正案を提示した。

（本件は第75回分科会で専門部会報告が承認済みである。）

以上